

第4次南小国町総合計画

令和5年度（2023年度）

主要な取組のご紹介

「主要な取組のご紹介」について

南小国町では、第4次南小国町総合計画の取組に沿って各種事業を実施していますが、具体的な取組については、なかなかお知りいただく機会がないものと思います。

そこで、今回、共有ビジョンごとの取組について、主要なものをご紹介します。

町がどのような分野で、どのような取組を行っているのか、是非ご覧ください。



目 次



【き】 築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく里

: P 2 ~

【よ】 寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切にし、一人一人が誇りを持ち、多様な生き方を尊重しあえる里

: P 6 ~

【ら】 ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ごせる里

: P 7 ~

【の】 のびのびと学べる環境の中で、すべての人が夢に向かって挑戦できる里

: P 11 ~

【さ】 再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる豊かな暮らしを実現する里

: P 14 ~

【と】 共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里

: P 16 ~

【き】築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく里
〈施策（１）、施策（２）、施策（３）〉

〈関連SDGs〉



【まちづくり課】

・日本でも美しい村に関する取組の推進

南小国町は、失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村としての自立を目指す「日本でも美しい村連合」に加盟しており、2005年の発足メンバーの1つになります。

「最も美しい村づくり」を推進するため、町独自の取組として「日本でも美しい村補助金」を実施しており、町民による日本でも美しい村づくりにつながる活動を支援しています。



押戸石の丘における
トイレ棟設置事業

《令和5年度の実績や課題など》

街並景観形成1件、自然環境保全活動2件に対して補助を実施しました。

・南小国町観光業等の持続的発展に向けた取組

南小国町観光協会と連携して、観光庁補助事業である地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業に応募し、採択を受けて宿泊施設や観光施設の改修等の取組みを支援しました。

《令和5年度の実績や課題》

補助事業を活用して令和5年度は13件の宿泊施設及び観光施設の改修が行われました。

・南小国町観光協会と連携した町PRの取組

新規観光客の獲得及びリピーターの創出を行っていくとともに、滞在時間、観光消費を増大させていくため、地域資源を活用した新たな需要の取り込み強化及びソフト・ハード両面での受け入れ環境の整備推進を南小国町観光協会と連携して取り組んでいます。



南小国町観光協会

《令和5年度の実績や課題》

町外の方に向けたバスターミナルでの広告や映像広告など、熊本・福岡を中心としてPR施策を実施し、南小国町の知名度上昇に努めました

【農林課】

・中山間地域等を支援する取組

農業生産活動の不利な中山間地にて農用地の維持・管理を行う集落等に対し、「中山間地域等直接支払制度交付金」を交付しています。

主に水路、農道の維持管理や鳥獣害対策に係る費用、農用地の管理費用等に活用しています。



集落協定の水路の草切活動

《令和5年度の実績や課題など》

本町では令和2年度から65協定の集落協定や牧野組合等が活動しており令和5年度の活動としては、農地法面の草刈や水路の泥上げ、野焼き等を行っています。

高齢化や人口減少に伴う農地の維持管理が課題としてありますが、地域の農業生産の維持・発展や地域の活性化のため、今後も本制度の活用を進めていきます。



相談会の様子

・新規就農者を支援するための取組

南小国町内就農者数の増大を目的に、国の「新規就農者育成総合対策事業」を活用し、経営の不安定な就農初期の段階に、資金を交付しています。

また、町で親元就農の補助や、就農、研修向けの支援を行っています。

《令和5年度の実績や課題など》

令和5年度においては、役場農林課での就農相談5件中、令和6年度に向けた就農準備者が2名となりました。上記の国の資金を活用した新規就農はありませんでした。

また、町外への宣伝活動として、役場での相談受付の他、熊本城ホールで開催された「就農相談会」にも参加しました。

令和6年度にも継続して宣伝活動を行い、町内での新規就農者確保に取り組めます。

・ 林業を支援するための取組

南小国町で林業を行う方の事業支援や担い手育成を目的として、「林業機械導入事業補助金」にて、チェーンソーやその他林内作業に用いる機械、または作業の安全を確保するための装具などを購入した際に、これらの経費に対して補助を行っています。



林内作業用機械

《令和5年度の実績や課題など》

令和4年度より補助事業を活用できるよう補助率や補助上限額を引き上げ、令和5年度はチェーンソー7件、林業機械2件、安全装備品2件の補助を行いました。

【よ】 寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切にし、一人一人が誇りを持ち、多様な生き方を尊重しあえる里〈施策（10）、施策（11）〉

〈関連SDGs〉



【福祉課】

・結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える取組

南小国町では、核家族化や地域のつながりの希薄化や、家庭地域の「子育て力・教育力」の低下等が課題となっている中、心して子育てができるよう次の支援策に取り組んでいます。

- ①乳幼児の保護者どうしの情報交換の場の提供
- ②児童の放課後の居場所の確保



子育て支援ひろば めくもり

《令和5年度の実績や課題など》

①毎週火曜日から木曜日の週3回、地域福祉センターりんどう荘内で「子育て支援ひろば めくもり」を開催しています。親子でのふれあい遊びなどを

楽しんでいきます。その他、月に数回中原保育園や元気プラザ中原などで子育てに関するイベントを行っています。

②児童の放課後の居場所として、教育委員会所管事業の放課後子ども教室を実施しており、市原小学校と中原小学校の2拠点で週4日教室を開催しています。

・自立支援、健康づくりの推進と生涯現役社会の実現

南小国町では、高齢者の自立支援や要介護状態になることの予防、悪化防止に向け、介護予防をはじめとする高齢者の健康づくりと、それにつながる地域住民の交流機会としての「通いの場」づくりに取り組んでいます。



住民主体の通いの場

《令和5年度の実績や課題など》

70歳年齢到達者に対し、郵送によるフレイル健診を実施し、対象者に電話による生活改善の支援を行いました。町民の健康づくりに対する意識の高まりもあり、町が実施する介護予防教室の参加者は増えています。しかし、教室の定員には限りがあるため、今後は教室を卒業した人に対し地域の通いの場への移行支援を行うことが課題となっています。

【ら】 ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ごせる里〈施策（12）、施策（13）、施策（14）、施策（15）、施策（16）、施策（17）〉
〈関連SDGs〉



【総務課】

・防災、減災体制の強化

災害等からの町民の生命財産を守るため、町防災計画や国土強靱化計画など、町の防災対応の基本となるべき重要計画の点検、修正を行っています。

また、町全体での防災訓練など、地区防災の中心となるべき自主防災組織の活動活発化を図っています。

《令和5年度の実績や課題など》

「南小国町地域防災計画」を修正しました。

【主な変更箇所】

- ・令和3年度に発生した災害を踏まえた変更
- ・関係法令、制度改正に伴う変更
- ・県による洪水浸水想定区域の変更に伴う変更
- ・「南小国町国土強靱化計画」を点検しました。

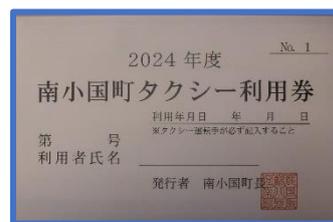


南小国町防災会議

【まちづくり課】

・交通弱者対策の取組①（タクシー利用券の交付）

町では、乗用車の運転免許を持っていない方で「65歳以上の方」または「障害者手帳を持っている方及び介護保険認定者」を対象に、生活に不可欠な買物・通院等のための移動手段を確保するため、対象地域内（南小国町及び小国町大字宮原地内）の移動で小国郷内のタクシーを利用する際に利用可能な「南小国町タクシー利用券」を年間最大 50 枚（申請時期により配布枚数減）交付しております。



タクシー利用券

《令和5年度の実績や課題など》

335 名の方に交付を行い、延べ約 1 万人の方に利用いただきました。

また、利用者アンケートによる満足度調査では、9 割近くの方から満足と回答をいただいております。



コミュニティバス「にじバス」

・交通弱者対策の取組②（買い物バスの運行）

町では、小国町との合同事業として平日の買い物や通院などにご利用いただける、両町の中心市街地を走る公共交通（コミュニティバス）、小国郷中心市街地バス「にじバス」を運行しております。

《令和5年度の実績や課題など》

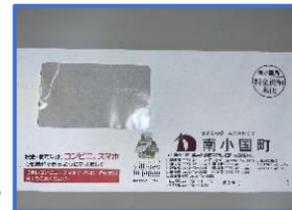
運行は平日のみで、年間の利用者数が2,257人、月平均は約188人となっています。

また、令和6年1月から3月までの期間、町民の方への更なる周知や利用促進を目的として、無料運行を実施しました。期間中の利用者数は前年の同期間の倍以上と多くの方に「にじバス」を利用いただきました。今後も、運行内容の見直しや、利用促進の取り組みを進めてまいります。

・コンビニ収納システムの導入

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来庁時の接触機会の減少を目的に、各種税・使用料等のコンビニでの納付書払いを開始しました。併せて、PayPay等の

キャッシュレス決済も可能となりました。コンビニ支払いが可能となったことで、来庁する時間が取れない人でも納付書での支払いがしやすくなり、利便性が向上しました。



コンビニでの支払いも可能となった旨の記載がある封筒

《令和5年度の実績や課題など》

コンビニ支払いによる各種税・使用料の納付が全部で5,879件ありました。

【町民課・税務課】

・コンビニ交付サービスの導入

令和4年9月よりマイナンバーカードを利用して住民票の写しや印鑑登録証明書、所得証明書が全国のコンビニエンスストア等で取得できるようになりました。

利用可能時間は、午前6時30分から午後11時までで、土日祝日も利用可能です。仕事帰りや休日にも利用できますので大変便利です。



コンビニでの証明書発行

《令和5年度の実績や課題など》

住民票の写し 251件、印鑑登録証明書199件、所得（課税）証明書14件、所得証明書13件の交付がありました。

【福祉課】

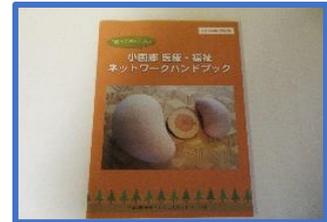
・医療・介護・福祉の連携による包括的なケアの推進

小国郷においては、地域内の医療機関、歯科医、薬局、介護施設及び行政等の多職種が連携して、小国郷医療福祉あんしんネットワークを組織し、認知症カフェの運営、情報の共有、在宅医療の充実等に取り組んでいます。

《令和5年度の実績や課題など》

医療・福祉に関する理解を深めることを目的として、7月に住民参加型の小国郷住民フォーラムを開催し、小国郷のケアの取り組みについての紹介などを行いました。

その他、医療・福祉関係事業所の情報をまとめたハンドブックや相談窓口マップを作成し、情報を必要としている町民に対し周知しました。



ハンドブックの作成

【建設課】

・町道改良工事の推進

主要事業として、災害時の避難ルート確保・交通の安全・利便性の確保のため、町道中湯田赤迫線（瓜上矢田原線）の古賀から矢田原集落間の改良（拡幅・一部バイパス）工事を、国庫補助事業（社会資本整備総合交付金）にて取り組んでいます。



工事しゅん工（瓜上矢田原線）

《令和5年度の実績や課題など》

○町道中湯田赤迫線

全体計画 1,240mのうち、令和5年度に 66.5mの改良工事を実施。
令和7年度に 80mの舗装工事を実施し整備完了予定。

○町道瓜上矢田原線

全体計画 720mのうち、令和5年度に 96.6mの改良工事を実施。
令和6年度は 87.2mの改良工事を実施し、令和7年度に完了予定。

○令和6年度の完了を目指して整備を進めていましたが、国庫補助金の配分の関係等により令和7年度の完了予定となっています。



その他の町道改良工事については、令和6年度に「町道小原仁連線・町道立岩線」を計画しています。

【の】のびのびと学べる環境の中で、すべての人が夢に向かって挑戦できる里
〈施策（４）、施策（５）〉

〈関連SDGs〉



【教育委員会】

南小国町では、子どもたち一人ひとりがチャレンジする教育をとおして、南小国町の未来の創り手となるために必要な資質・能力である4つのC「コミュニケーション」「コラボレーション」「クリエイティビティ」「クリティカル・シンキング」を重点的に育成していこうと考えています。

その育成の場にキャリア教育の視点を踏まえた南小国町独自の学習として「きよら学」を推進し、『地域』に目を向け、地域の方々と連携した次のような学習を進めています。

・まちインターン事業（4Cの全てを育成）

他者と協働し、新しい価値を創造する力・めげずにチャレンジする力が大人にも子供にも必要だ！という思いから始まった課題協働型インターンシップ。事業所の皆さんの仕事に対する思い、大事にしていることを取材し「事業所のファンを増やすことを目的に、事業所の方々とともに協働・チャレンジする取り組みです。



町内事業所でのインターンシップ

《令和5年度の実績や課題など》

中学2年生19名が8事業所において業務を体験。

南小国町プレゼンテーション大会において、代表者による体験活動を発表。

・農業体験民泊事業（4Cの全てを育成）

南小国町の基幹産業である農業を通じて地域の人と交流し、体感する中で考え、チャレンジする力、創造する力を育むための体験学習プログラムです。



農作物の収穫体験

民泊受け入れ農家に2泊3日滞在し、農業や職について学び、南小国の方々の農業に対する思いを共有し、生徒自ら考えた南小国の収穫物を活かしたアイデア料理を農家の方と一緒に作ります。

《令和5年度の実績や課題など》

中学1年生28名が9軒の農家にて農業体験。

農業体験を行いながら、生徒たちが考えた料理を試作し、全校生及び学校関係者へ試食会を実施。

南小国町プレゼンテーション大会において、代表者による体験活動を発表。

・集団活動事業（コミュニケーション・コラボレーションを育成）

子どもたちに生きる力を育むために、自然や社会の現実に触れる体験が必要であると考えます。

そこで、南小国町の里山を見て、体験し、そのすばらしさを味わうことを目的とし『里山自然体験活動事業』に取り組んでいます。南小国町の自然のすばらしさを肌で感じ、自然の中での貴重な体験を通して、南小国町を自慢に思える児童を育成していく事業です。



立岩地区での水源沢登り体験

《令和5年度の実績や課題など》

町内の小学4年生30名を対象に活動を実施。

吉原ごんべい村での地域体験五感ゲームやアウトドアクッキング、立岩地区での水源沢登りを実施。

【まちづくり課】

・地域おこし協力隊の活躍

地域外の人材を招聘し、地域ブランドや地域製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図るため、平成26年度から「行政型地域おこし協力隊」を導入しました。

令和2年度からは、自身の起こす事業を磨き、地域とつながりながら発展させていくことを目的とする「起業型地域おこし隊」を導入しており、現在様々な活動を行っています。



起業型地域おこし協力隊員

《令和5年度の実績や課題など》

令和5年度は6名の起業型地域おこし協力隊員が町内において様々な活動を行いました。なお、協力隊員の活動の様子は不定期でみなみチャンネルにて放映しています。

また、令和6年4月からは新たに2名を起業型として委嘱しており、町内事業所の新分野進出・事業拡大に向けて活動いただいています。



一軒家エステサロン開業事業
「美容室開業」事業

・町民の新たなチャレンジへの支援

南小国町では、町民や、町内に移住されてくる方が主体となり行う、起業や地域活性化を目的とした様々な分野の活動に対し、町独自の「夢チャレンジ推進事業補助金」を実施しています。個人による飲食店や美容室、カフェなどの開業や農家民泊を始めるための許可関係を取得など個人の「夢」の実現に向けた挑戦を支援しています。

《令和5年度の実績や課題など》

5件の申請があり、全ての事業が年度内に完了しています。

・町内事業者の働き手不足の解消及び短時間でも働ける仕事の確保に関する取組み

町内事業者の人材不足に対応するため、事業者の業務を見直し、短時間でも働ける仕事として切り分けるとともに、町内外の短時間であれば働ける人材を掘り起こし、地域の労働力の総量を増大させるための事業を、株式会社SMO南小国と連携して実施しています。



しごとコンビニ稼働

令和4年度からは、業務委託型短時間ワークシェアリング事業「しごとコンビニ®」を導入し、町内関係者向けの説明会やニーズ調査、町内でのトライアルを行い、本格的な導入を図ります。

《令和5年度の実績や課題など》

町内の広報誌等で周知を図り、事務局や地域拠点で登録者説明会を行った。案件組成に関しては、事業者への訪問や稼働後の連絡を密にし、継続的な稼働に繋がった。実績としては、累計登録者数108名、実施稼働回数644件となった。来年度も更に多くの案件組成、登録者を増やしていきたい。

【さ】再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる豊かな暮らしを実現する里く施策（18）、施策（19）、施策（20）

〈関連SDGs〉



【町民課】

・省エネルギーに関する取組

子供デイサービス利用者を対象に、地球環境の問題点を意識するためのエコ教室を実施しました。社会生活を送る中で、地球環境のために個人として何ができるのか具体的に学ぶことができる内容としました。



小学生向けエコ教室

《令和5年度の実績や課題など》

令和6年3月に子供デイサービス利用者を対象として、環境問題に関するアニメーションを利用した学習を実施しました。また、広報誌には省エネルギーに関する記事を3回掲載し、省エネルギーに貢献するためのハードルを低くするため、家庭で実施可能な行動の周知を行いました。

【まちづくり課】

・太陽光発電など再生可能エネルギー普及への取組

町内への中小水力発電の実施可能性を検討するため、令和3年度から「マイクロ水力発電施設導入実証事業」を実施しています。



マイクロ水力発電装置

また、町内における再生可能エネルギーの導入及び自立分散型電源の確保を促進することを目的に、令和3年度から太陽光発電設備等導入促進事業補助金の交付も実施しています。

《令和5年度の実績や課題など》

マイクロ小水力発電実証事業については、令和4年度に（株）SMO南小国の農園内に発電設備を設置しており、マイクロ小水力の発電の可能性について引き続き検証を行っています。

太陽光発電設備等導入促進事業補助金では申請のあった6件に対して補助を実施しました。

【農林課】

・木質バイオマスの活用の推進

南小国町ではペレットストーブなどの木質バイオマスを推進し、二酸化炭素の排出を抑え、エネルギーの地産地消を目指すために、「ペレットストーブ等購入補助事業」により、木質ペレットストーブや薪ストーブを購入する際に、これらの経費に対して補助を行っています。



木質ペレットストーブ

《令和5年度の実績や課題など》

薪ストーブ3件、木質ペレットストーブ1件の購入に対して補助を行いました。令和5年度には環境省の地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業を活用し、木質バイオマスエネルギーなどを活用した2050年までのゼロカーボン実現に向けての具体的な計画を策定しました。

【と】共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里
〈施策（６）、施策（７）、施策（８）、施策（９）〉

〈関連SDGs〉



【総務課】

・安心安全な暮らしを実現するための外部団体との協定締結

災害対応、地域活性化、子どもの健全な育成を目的として、各種団体等と積極的な相互協定の締結を進めています。

《令和５年度の実績や課題など》

町民の安全確保体制の強化と、大規模災害時の食料確保手段の複数化を図るため、「生活協同組合くまもと」と、食品配達時において町民の安否確認などの見守り活動を行っていただくこと、大規模災害発生時において応急生活物資を積極的に供給していただくことについての協定を締結しました。



「生活協同組合くまもと」
との協定締結式

【まちづくり課】

・企業版ふるさと納税に係る取組みの推進

本町における地方創生の取組みを加速化するため、企業版ふるさと納税の寄附額増加に向けて、企業への営業活動などの取組みを推進しました。



企業版ふるさと納税
感謝状贈呈式

《令和５年度の実績や課題など》

企業版ふるさと納税による寄附件数 ３件（R4）→１７件（R5）

【まちづくり課】

・移住定住に係る取組みの推進

少子高齢化による人口減少や、担い手不足を解消していくために、南小国町に移住してくる方を増やしていく取組みを行っています。町内にある空き家を、町外から移住される方への住居としてマッチングさせる「空き家バンク」の運用や、移住定住コーディネーターによる移住前後での相談体制の構築を進めています。



移住定住コーディネーター
が空き家所有者にヒアリングを行っている様子

《令和5年度の実績や課題など》

空き家バンク（移住）相談件数 22件 空き家バンク新規登録件数 4件
移住相談や空き家バンクへの問い合わせの件数に対して、一般住宅として紹介できる物件数が少ないため、物件の掘り起こしが課題としてあります。

また、町が空き家を改修し、移住者等に貸し出す事業の実施に向けた取り組みを進めており、年度内に2件の改修工事が完了しました。
空き家は、月日が経つ毎に状況が劣化していきますので、早めに相談いただきたいです。



南小国町くらし応援券

・地域経済の活性化等に向けた取組

南小国町内における町民の生活支援や経済循環を高めるための取組みとして、町内にお住いの方向けに各種商品券の販売等を行います。

《令和5年度の実績や課題など》

町内の商工会加盟店で使用できる「南小国町プレミアム付き商品券」の販売（商工会事業）を支援しました。

また、全町民に対し2万円分、町内のガス契約者に対し6千円分の「くらし応援券」を配布するなど、コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰等の影響で打撃を受けている地域経済と町民の生活を支援しました。

・町外への情報発信や町体験事業等の実施

昨年度、役場職員有志で構成する「南小国町広報・営業プロジェクトチーム」を新たに立ち上げ、株式会社SMO南小国と連携し、首都圏や関西圏を中心に町の知名度向上を図る取組みを推進しました。



東京でのイベントへの出展

また、同じくSMO南小国と連携し、南小国町に関心がある大学生などが町に滞在し、町内での仕事や暮らしを体験する「ワーキングバケーション」や、町内での起業を志す方を支援する「起業塾」を実施しています。

そのほか、南小国町観光協会と連携し、熊本市内や福岡市など、町外でのPR活動にも積極的に取り組んでいます。

《令和5年度の実績や課題など》

広報・営業プロジェクトチームにおいては、東京都や福岡市で開催されたイベントへの出展や東京都と大阪市などで開催された熊本県人会へ出席し、町のPRを行いました。また、「ワーキングバケーション」に大学生16名、「起業塾」へは3名の参加があり、起業塾参加者のうち2名が起業型地域おこし協力隊員として令和6年度より活動することとなり、町への移住につながりました。

このほか、南小国町の特徴を活かした内容の電子雑誌を令和5年度に引き続き掲載するとともに、冊子（紙媒体）の増刷を行うなど、町の知名度向上を図り、観光入込客数の回復や地域経済の活性化につなげました。

【建設課】

・民間賃貸住宅確保プロジェクトの推進

移住定住の促進に係る取組みの一つとして、民間賃貸住宅の供給不足解消のため、住宅（2戸以上）を建設する個人及び法人（町内に住所を有する個人、町内に事業所を有する法人に限る）に対し、1戸あたり100万円を上限として、建設費の一部を補助しています。



補助金交付予定の賃貸住宅

《令和5年度の実績や課題など》

相談が2件あり、合計戸数12戸に対し補助金の交付認定を行いました。

（令和6年度に申請、補助金交付の予定となっています）